

2021年1月 (No.379)

## 主な内容とページ

揺らぐ半導体の供給網と生態系 .....	1
供給網の分断と生態系 .....	2
半導体の歴史での国家支援と勢力図の変遷 .....	5
半導体での生き残り要因 .....	6
大きな視野で半導体に取り組み .....	8
思い切った挑戦が必要 .....	9
生態系の活用 .....	9
加速される新旧逆転(SRL だより) .....	12

---

## 揺らぐ半導体の供給網と生態系

今年は、半導体の供給網と生態系が注目されそう。経済安全保障が影響を与えている。

1. 米中の競争で、半導体の供給網が寸断され、その対策として生態系の維持、確保の重要性が高まっている。
2. 国や業界挙げての半導体の技術開発が活発化、世界規模の競争は激化している。地域、国家による半導体への支援は常態化、食料の安定確保や軍備のような安全保障と同類になりつつある。
3. わが国は、半導体、電子機器ともに世界での存在感が薄らいでおり、対策が必要。しかし、動きは少なく、世界競争から脱落する懸念がある。

## 加速される新旧逆転

昨年注目され話題となったのは、米テスラが時価総額でトヨタ自動車を抜いたこと。半導体ではエヌビディアがインテルを抜き、これも新旧逆転の例として注目された。脱炭素や AI(人工知能)が重要となる時代を先取りした動きだろうか。これ以外にもいろいろな分野で交替、逆転劇がみられた。

年明けに開催された CES ショーの開催者は、コロナ禍で、変化が数年早まったと語っているのが印象に残っている。デジタル革命、脱炭素、人との接触を避けるロボット技術いずれも加速されている感じを受ける。半導体には追い風で、恵まれている。一方で、飲食、サービス分野では生き残りを試される試練を受けている。

まだ、全貌はわからないが、コロナ危機は、大きな変化をもたらしているのだろう。歴史では疫病の世界的大流行が発展地域や移り変わりや新たな科学技術もたらしたが今まさにわれわれは、同じ場面に遭遇しているのだと思う。今年は、より大きな変化が起こるのだろうか。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。

2021 年 著作権所有 株式会社 SRL

### SRL Monthly Report

2021 年 1 月(毎月 1 回発行)第 32 巻 1 号(通巻 379 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

### SRL Monthly Report

January 2021, No.379

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014

Japan Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2021

購読料金1年分(12号)98,000円(税別)